

令和4年 鳥取市教育委員会 8月定例会 会議録

1 日 時 令和4年8月31日（水） 13時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第5 会議室

3 出席者

教育長 : 尾室 高志
教育長職務代理者 : 藤井 喜臣
委員 : 前田 哲雄
委員 : 山脇 彰子
委員 : 畑 千鶴乃

[事務局]

副教育長 : 岸本 吉弘
次長兼教育総務課長 : 横尾 賢二
次長兼学校教育課長 : 安本 雅紀
生涯学習・スポーツ課長 : 須崎 ひとみ
文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる
中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 安田 直人
学校教育課参事兼指導係長 : 浅見 康陽
学校教育課参事 : 平戸 由美
教育総務課長補佐 : 小清水 晃子

[傍聴者] なし

4 会議次第

○行事報告及び行事予定について [教育総務課]

【説明・協議事項】

(1) 9月市議会定例会の附議案について [各課]

【報告事項】

(1) 鳥取市学校給食センター整備計画について [学校保健給食課]

(2) 新しい成人式の名称決定及び新成人への対応について [生涯学習・スポーツ課]

(3) 「日本国内で観測された最も暗い彗星の新記録」について

[生涯学習・スポーツ課さじアストロパーク]

(4) 鳥取市学校教育情報化推進計画の策定について [学校教育課]

(5) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について
[学校教育課]

【先回定例会の議事録】

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[9 月] 令和 4 年 9 月 27 日 (火) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 6 階 第 4 会議室

[10 月] 令和 4 年 10 月 25 日 (火) 13 : 30 ~ " 6 階第 5 会議室

5 会議概要

13時30分 開会

尾室教育長 あいさつ

○行事報告及び行事予定について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

【説明・協議事項】

(1) 9月市議会定例会の附議案について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

学校教育課長 (資料に基づき説明する。)

総合教育センター所長 (資料に基づき説明する。)

生涯学習・スポーツ課長 (資料に基づき説明する。)

文化財課長 (資料に基づき説明する。)

【報告事項】

(2) 新しい成人式の名称決定及び新成人への対応について

生涯学習・スポーツ課長 (資料に基づき説明する。)

(3) 「日本国内で観測された最も暗い彗星の新記録」について
佐治アストロパーク所長（資料に基づき説明する。）

(4) 鳥取市学校教育情報化推進計画の策定について
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(藤井委員)

先ほど GIGA スクール推進委員会のお話がありましたが、これは一応外部組織ですよ
ね。

(学校教育課長)

はい。

(藤井委員)

例えば大学などは小学校よりも結構進んでいると思うのですが、大学にこういった
ことが詳しい方がおられましたらメンバーに加わっていただいてもよいのかなという
のが1つと、IT企業の方に加わっていただくのもよいかなと思います。メンバーはす
でに決まっているのですか。

(学校教育課長)

いいえ、まだです。

(藤井委員)

今メンバーを聞いていると、どちらかという内側のメンバーだったように思いま
すので、外の人の意見も聞かれながら作られた方がよいかなと思います。

(学校教育課長)

協議をする中で、江山学園がインテルの指定を受けて施策を進めていますので、そ
ういった企業の代表の方にも入っていただいた方がよいのではないかとということも検
討中です。大学も含めて検討していきたいと思います。

(藤井委員)

大学にそういった方はおられますか。

(畑委員)

少なくとも導入してきた経緯というのは、このコロナ禍で大学に進んだものがある
と思いますので、知見をもった方は必ずおられると思います。藤井委員のご意見はそ
のとおりだと思います。システムを入れていくにあたって、どういったことが課題で
どういったところが上手くいったかという具体的な運用方法が聞けるのではないかな
と思います。

(学校教育課長)

検討してみたいと思います。ありがとうございます。

(畑委員)

どこに該当するのが妥当なのかわかりませんが、私一個人の意見です。例えば方針1の子どもたちの学びを広げ力を高めるところの(1)発達段階に応じた情報活用能力の育成というのは、これはまさに親御さんが知りたい、共通理解として深めたいテーマなのではないかなと思うのです。ご家庭でも子どもに持たせるのか持たせないのか、持たせるのであればどのような持たせ方をすることが望ましいのかも含めて、そういった情報と言いますか、知識を知りたいと思います。ですから、こちらはどちらかという学校の中でということを中心にしながら議論が進み、計画が進んでいっていると思うのですが、その内容を保護者会の代表だけが共有できるのではなく、議論に直接参画するのは保護者会の会長さんが中心であったとしても、そこで交わされた内容が親御さんに広くいきわたるような検討がぜひあっていただきたいなと思います。今までPTAが独自にこういった知見をもった研究者なり現場でいろいろな講演会をなさっておられる方を呼んで勉強会、研修会などをそれぞれの学校で行われてきたのではないのでしょうか。そういった単発の学校独自の取り組みだけに委ねるのではなく、せっかくこうして共有したものが作られるわけですから、ぜひ親御さんにそれを周知できるという場面がこの方針の中で謳われたらなお、学校と家庭とが一緒になってこうしたデジタル化に向けての子どもの育成に向かっていけるのではないかなと思いました。それが方針4の(3)だと言われればそうなのかもしれないですが、それでは少し描ききれないのかなとお聞きしていて感じたところです。

もう一点はそれと関連して、学童クラブの先生も同じように知りたいのではないかと思います。学校から帰って最初に過ごす生活空間は多くのお子さんが学童クラブであるわけで、学校の一番傍にある子どもたちの生活空間ですので、学童の先生方も学校と方針を同じくして共有して、ICTの利用に向けてのビジョンと一緒にできたらなと思います。ですので、親御さんと学童の先生方に情報を共有し、一緒に考えながら進めていくというのをどこかに入れていただけないのでしょうか。きちんと方針として謳う必要があるのではないかとお聞きしていて思いました。

(学校教育課長)

ありがとうございます。1件目につきましては、パブリックコメントの中でも広く意見をいただこうと思っておりますが、随時保護者の方にもご意見いただきながら、盛り込んだものをつくっていきたく思っております。それから、昨今、国の方がGIGAに関わる予算を増やすというようなニュースも聞いておりました、児童クラブでの扱いも充実するよという方針を示しておりますので、畑委員がおっしゃるように学童の扱い方というところも柱立てをして盛り込んでいけたらと思います。

(畑委員)

ぜひそのときに、学校の先生方の研修だけではなく指導員の先生方の研修という機会の保障もこの中に謳っていただくと、なおさら共有して一緒に進めていけるのではないかなと思います。

- (5) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について

[9月] 令和4年9月27日(火) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

[10月] 令和4年10月25日(火) 13:30～ " 6階第5会議室

【意見】

(藤井委員)

先日県立図書館から本を借りたのですが、広島県の教育長の取組みが書かれた本がありまして、民間の方が教育長になられているようでして、教員の研修ですとか不登校対策などに力を入れられているようですので、また機会がありましたら読んでみていただきたいと思います。そのなかで1つ思ったのが、学校図書館と言いますか、公立の高校の図書館を図書館の専門家の別の視点でチェックしたら、非常に子どもが利用する図書館になったというのがありまして、学校図書館の中に子どもが読まない本が結構あるということで、それを整理してスペースをとって子どもが集いやすいようなことをしたというような内容が書かれているのですが、市立図書館は外の人も使用するというのもあって、人が入りやすいような図書館にされていると思います。ですから1回、市立図書館のスタッフの方で学校図書館を見て回られて、置かれている本などを見てチェックされてはどうかと思います。本がたくさんあっても読まない本は置いていてもしょうがないと思いますし、貸出記録などで全く子どもが借りていない本があるのではないかなと思いますので、このようなことを提案させていただきたいです。私たちも学校訪問の際に図書館に行きますが、雰囲気はわかっても本を見ることはありませんので、本の量がたくさんあるのが決していることでもなさそうですし検討されてみてもいいのかなと思います。私たちより市立図書館の司書の方が児童コーナーをもっておられますので良いのかなと思います。

(尾室教育長)

図書館長、学校図書館との連携は何かありますか。

(中央図書館長)

学校司書の方にはいろいろと提供させていただいておりまして、本を団体貸し出しということで長期に貸し出しをさせていただいているところもありますけれど

も、どうしても学校の規模に応じて図書室というのも変わってきますので、なかなか思うように活用できていない図書室もあると思います。一概にこれがよいということも言えませんが、うちの方もなかなか定期的に学校の図書館と連携が取れているという状況がないものですから、どうしても学校教育課の方がその辺りサポートしていただいているところがあると思います。それから、県立図書館には小中学校担当の指導員さんがおられるようでして、それぞれ小中高等学校と担当があるようですので、そういったところの指導する方々に学校現場を見ていただく方がよりよくなることもあるかなと思います。

(尾室教育長)

実態としてはありますか。

(学校教育課長)

蔵書の数が多い方がよいなというイメージが外から見たときにはあるのですが、近年学校図書館の本は全てデジタル化してバーコードで貸し出しをするようにしていますので、蔵書の入れ替えというのはかなり楽になってきたということと、人気の本がどれくらい貸出されているかというデータも取りやすいですので、藤井委員がおっしゃるように、図書を整理するにはかつてのような大掛かりな労力は必要なくなっていると思います。

(藤井委員)

それであれば、何年も貸し出ししていない図書も出てくるということですね。この本には、蔵書数が少なくなっても入りやすい方がいいとか、本が少なくなると子どもが探しやすいということが書かれていて、そうかもしれないなと思いました。一回どこかの学校を見て回られるのもよいかもしれません。

(尾室教育長)

わかりました。そのあたりはまた少し学校とも相談してみましよう。

教育長 以上で8月定例教育委員会を終了します。

閉会 14時25分